

2020年2月期 決算説明会資料

2020年4月22日

PAL GROUP HOLDINGS

株式会社パルグループホールディングス 証券コード:2726

SMILE
IS
POWER.

社員と株主みんなの幸せのための経営



SMILE
IS
POWER.



目次

財務報告	2
2020年2月期 決算概況	3
2021年2月期 業績見通し	14
経営ビジョン	16
トピックス	19
株主様への対応	25
ESGへの取組み	29

SMILE
IS
POWER.



財務報告

2020年2月期 決算概況
2021年2月期 業績見通し

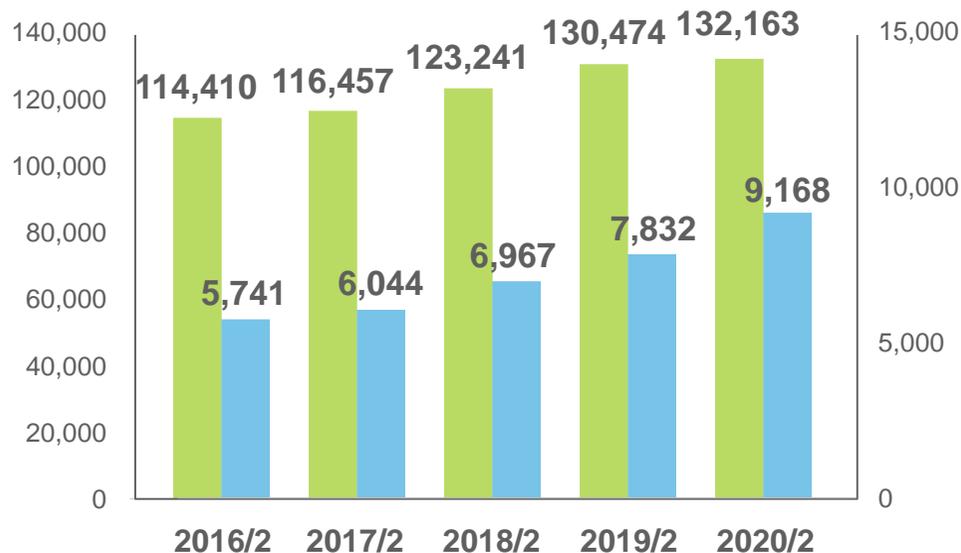
前期を振り返って・・・増収・増益かつ過去最高益を更新

- **売上高**：自社ECサイトの『PALCLOSET』が牽引役となり、厳しい環境の中でも前年比1.3%の増収となった。
- **利益率**：粗利益率が前年比0.6ポイント改善し、販売管理費率も前年比0.2ポイント改善したことで、連結経常利益は、初めて90億円台を達成出来た。

連結

■ 売上高 ■ 経常利益

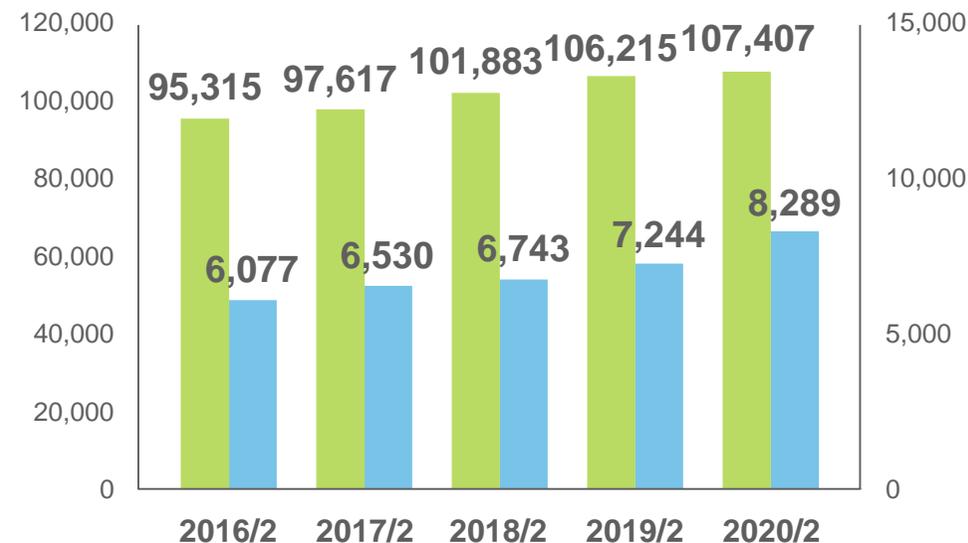
単位：百万円



(株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル

■ 売上高 ■ 経常利益

単位：百万円



単位:百万円

	2019年2月期	2020年2月期			
		公表値	実績	前年比	公表値比
売上高	130,474	137,700	132,163	101.3%	△4.0%
売上総利益	72,700	77,140	74,386	102.3%	△3.6%
(売上比)	55.7%	56.0%	56.3%	0.6%	0.3%
営業利益	7,933	9,190	9,067	114.3%	△1.3%
(売上比)	6.1%	6.7%	6.9%	0.8%	0.2%
経常利益	7,832	9,000	9,168	117.1%	101.9%
(売上比)	6.0%	6.5%	6.9%	0.9%	0.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,760	7,050	7,028	147.6%	△0.3%
(売上比)	3.6%	5.1%	5.3%	1.7%	0.2%

- 4週間MDの精緻化と、在庫管理の徹底により、期中でのマークダウンが抑止されたことで、粗利益率が、0.6ポイント改善。全社的な経費削減取り組みで、販売管理費率が0.2ポイント改善した。
- 当期純利益については、2019年7月9日に公表の通り、連結子会社間の合併により、1,520百万円の法人税等合計額の減少が(株)パルで発生、これを連結決算に反映し修正しております。

単位:百万円

	2019年2月期	2020年2月期			
		公表値	実績	前年比	公表値比
売上高	106,215	109,631	107,407	101.1%	△2.0%
売上総利益	60,036	62,797	61,310	102.1%	△2.4%
(売上比)	56.5%	57.3%	57.1%	0.6%	△0.2%
営業利益	7,263	8,868	8,321	114.6%	△6.2%
(売上比)	6.8%	8.1%	7.8%	1.0%	△0.3%
経常利益	7,244	8,783	8,289	114.4%	△5.6%
(売上比)	6.8%	8.0%	7.7%	0.9%	△0.3%
当期純利益	6,317	9,700	14,160	224.2%	146.0%
(売上比)	5.9%	8.8%	13.2%	7.3%	4.4%

- 4週間MDの精緻化目標のもと、発注数量コントロールが的確に出来たことで、在庫が前年比マイナスの状況を維持継続し、粗利益率の改善に寄与した。

株式会社ナイスクラブの状況

単位:百万円

	2019年2月期 実績	2020年2月期 実績	前年比
売上高	11,620	15,862	136.5%
営業利益	775	815	105.2%
経常利益	796	835	104.9%
当期純利益	500	654	130.8%

- ECでの好調な売上げを軸に、増収・増益を達成しています。

セグメント別売上高実績及びEC売上高の状況

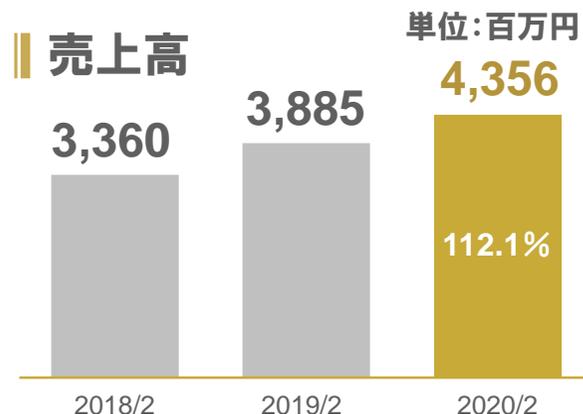
PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

		2019年2月期	2020年2月期	前年度比
衣料	売上高	96,139	97,102	101.0%
	構成比	73.7%	73.5%	
	営業利益	6,311	6,701	106.2%
	営業利益率	6.6%	6.9%	
雑貨	売上高	34,231	34,968	102.2%
	構成比	26.2%	26.5%	
	営業利益	1,565	2,329	148.8%
	営業利益率	4.6%	6.7%	
その他	売上高	103	92	△10.7%
		2019年2月期	2020年2月期	前年度比
EC売上高	ZOZO TOWN	10,289	11,340	110.2%
	自社PALCLOSET	2,950	4,168	141.2%
	その他	1,990	2,082	104.6%
	合計	15,231	17,591	115.5%
	対衣料売上高比率	15.8%	18.1%	2.3P

- ZOZO TOWNでの売上は、同社の体制変更の中、昨年中頃から一気に売上げが減少しました。一方、自社サイトのPALCLOSETは、ファッション好きの顧客に支援されて、40%強伸びました。

主なブランド

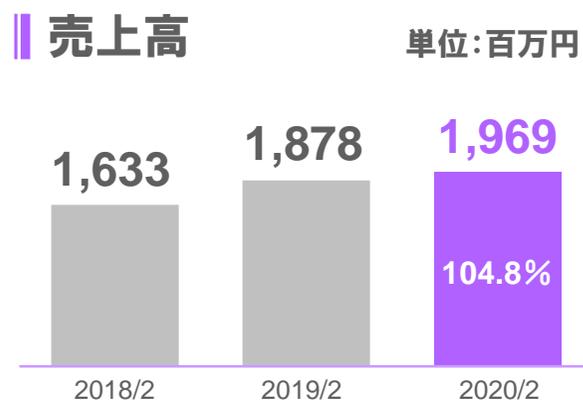


Kastane

アメリカンクラシックをベースとし、
世代・性別を超えたリアルスタイルの提案。
今の気分をmixしたマイスタイルの発見。

カスタネ

店舗数 23店舗



Lui's

モテる男のワードローブをテーマに
モード&ストリートのMIXコーディネートを提案。
着心地、カットイング、素材感を重視した商品を
国内外問わず編集し発信していく。

ルイス

店舗数 11店舗



3COINS

何度でも行きたくなる！いつ行っても発見がある！
ワクワク・ドキドキがたくさん詰まったHAPPY STORE
3COINSは、あなたのちょっと“幸せ”をお手伝い
する雑貨店です。キッチン・バス・インテリア・靴下・
アクセサリなどの商品を、ベーシックなものから楽
くなるようなカラフルな色使いのものまで、300円
を中心とした雑貨を幅広く取り揃えています。

3コインズ

店舗数 199店舗



販売費及び一般管理費

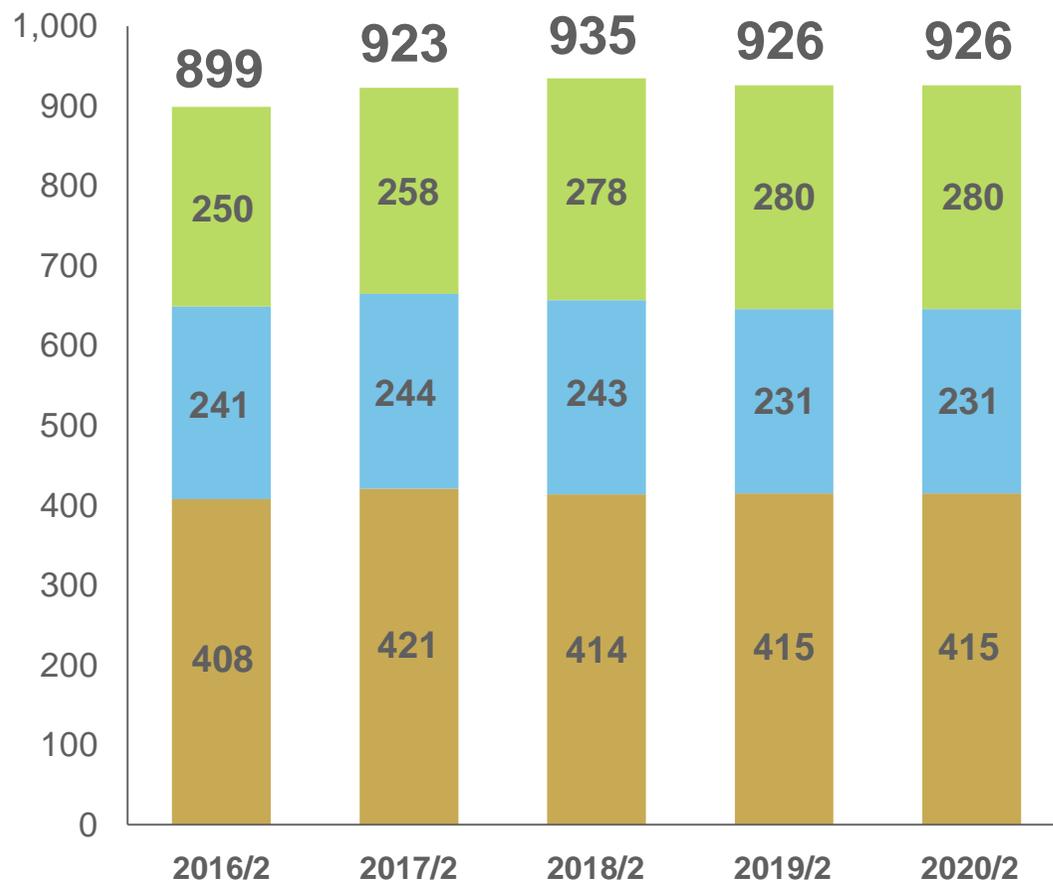
単位:百万円

	2019年2月期	2020年2月期	前年度比
(株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル	52,773	52,989	100.4%
連結	64,766	65,319	100.9%
販管費比率(連結ベース)	49.6%	49.4%	△0.2P
人件費比率	18.6%	18.5%	△0.1P
賃料比率	15.4%	15.1%	△0.3P
広告宣伝費比率	1.2%	1.3%	0.1P

- 賃料については、引き続き低下に向けた交渉を継続、また、人件費についても、今期から全社的に導入し始めた、変形労働時間制のもとでの柔軟なシフト運用により、効率化を図ったことで、前期比マイナスとなった。

期末店舗数926店舗 (前期末比増減無し)

■ その他地方
■ 関西圏
■ 関東圏



● 出店状況

当期の新規出店は、48店舗。また、退店も48店舗となり、前期末比の増減は無しとなりました。

出店では、Discoatが6店舗と最も多い新規出店となりました。

退店では、ブランドのスクラップを実施しましたPalinkAで3店舗、グループ会社の英・インターナショナルで4店舗の退店を決め、前期来、厳しい状況が継続していましたSalut!で8店舗の退店や業態変更を実施しています。

特別損益

単位:百万円

	2019年2月期	2020年2月期
固定資産売却益	310	—
受取補償金(平成30年台風21号災害に伴うもの)	198	—
移転補償金(本社移転に伴うもの)	242	—
特別利益合計	751	—
固定資産除却損	266	162
リース解約損	3	3
減損損失	475	387
災害による損失	136	—
関係会社株式売却損	—	10
特別損失合計	882	564

- ブランドのスクラップ、不採算店舗の閉店等、一昨年までで大きな対応は終了し、それに伴う特損は、減少しています。

連結貸借対照表

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2019年2月期	2020年2月期	前期末比増減	備考
流動資産	62,566	67,842	5,276	
現金及び預金	45,633	52,727	7,094	
売掛金	5,623	6,435	812	
たな卸資産	10,438	7,847	△2,591	在庫が減少
その他	871	830	△41	
固定資産	25,159	27,112	1,953	
有形固定資産	8,153	7,780	△373	
無形固定資産	808	690	△118	
投資その他の資産	16,197	18,641	2,444	
資産合計	87,726	94,954	7,228	
流動負債	33,358	36,004	2,646	
固定負債	12,728	12,323	△405	
負債合計	46,087	48,327	2,240	
純資産合計	41,639	46,627	4,988	自己資本比率 49.0%
負債純資産合計	87,726	94,954	7,228	

連結キャッシュ・フロー計算書

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2019年2月期	2020年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,378	14,705
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,182	△3,543
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,291	△4,068
現金及び現金同等物の増加(減少)額	4,904	7,094
現金及び現金同等物の期首残高	40,728	45,633
現金及び現金同等物の期末残高	45,633	52,727

単位:百万円

1. 連結

	2020年2月期	2021年上期	2021年下期	2021年2月期	前期比
売上高	132,163	—	—	—	—
売上総利益	74,386	—	—	—	—
販売管理費	65,319	—	—	—	—
営業利益	9,067	—	—	—	—
経常利益	9,168	—	—	—	—
特別損失	564	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,028	—	—	—	—
粗利率	56.3%	—	—	—	—

2. (株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル

	2020年2月期	2021年2月期	前期比
売上高	107,407	—	—
売上総利益	61,310	—	—
販売管理費	52,989	—	—
営業利益	8,321	—	—
経常利益	8,289	—	—
特別損益	193	—	—
当期純利益	14,160	—	—
粗利率	57.1%	—	—

- 2021年2月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表致します。

2021年2月期 業績見通しの前提

1. 店舗数の状況

	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期 (現時点の確定数)
新規店舗数	61	48	49
退店店舗数	70	48	30
店舗数純増	△9	0	19
期末店舗数	926	926	945

2. 既存店売上の状況 (パルグループ各社の合計)

	2019年2月期	2020年2月期 上期累計実績	2020年2月期 下期累計実績	2020年2月期 通期実績	2021年2月期 計画
既存店売上推移	102.1	102.7	97.1	100.1	—
うち小売既存店売上高	99.0	100.2	96.3	98.2	—
うちネット通販既存店売上高	132.2	121.0	105.1	114.0	—

	2019年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年 1月	2月
既存店売上推移	104.7	104.3	107.5	104.8	96.5	100.9	104.9	89.5	100.0	96.2	99.2	92.8
うち小売既存店売上高	101.4	100.8	104.1	100.1	94.9	99.6	103.7	89.2	100.2	93.3	99.7	91.7
うちネット通販既存店売上高	140.8	128.1	130.7	117.6	109.0	110.0	113.0	95.8	102.2	116.2	98.6	105.9

3. 全店売上の状況

	2019年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020年 1月	2月	通期
全店売上	104.3	103.2	106.0	103.9	97.5	102.7	105.5	92.1	101.8	98.7	102.0	95.8	101.1
うちEC	149.1	139.2	134.9	120.8	113.4	115.9	117.5	98.1	100.9	116.2	98.9	106.2	115.5

4. 客数、客単価の推移

	客単価前年度比	客数前年度比
衣料事業	103.7%	94.7%
雑貨事業	100.4%	98.9%

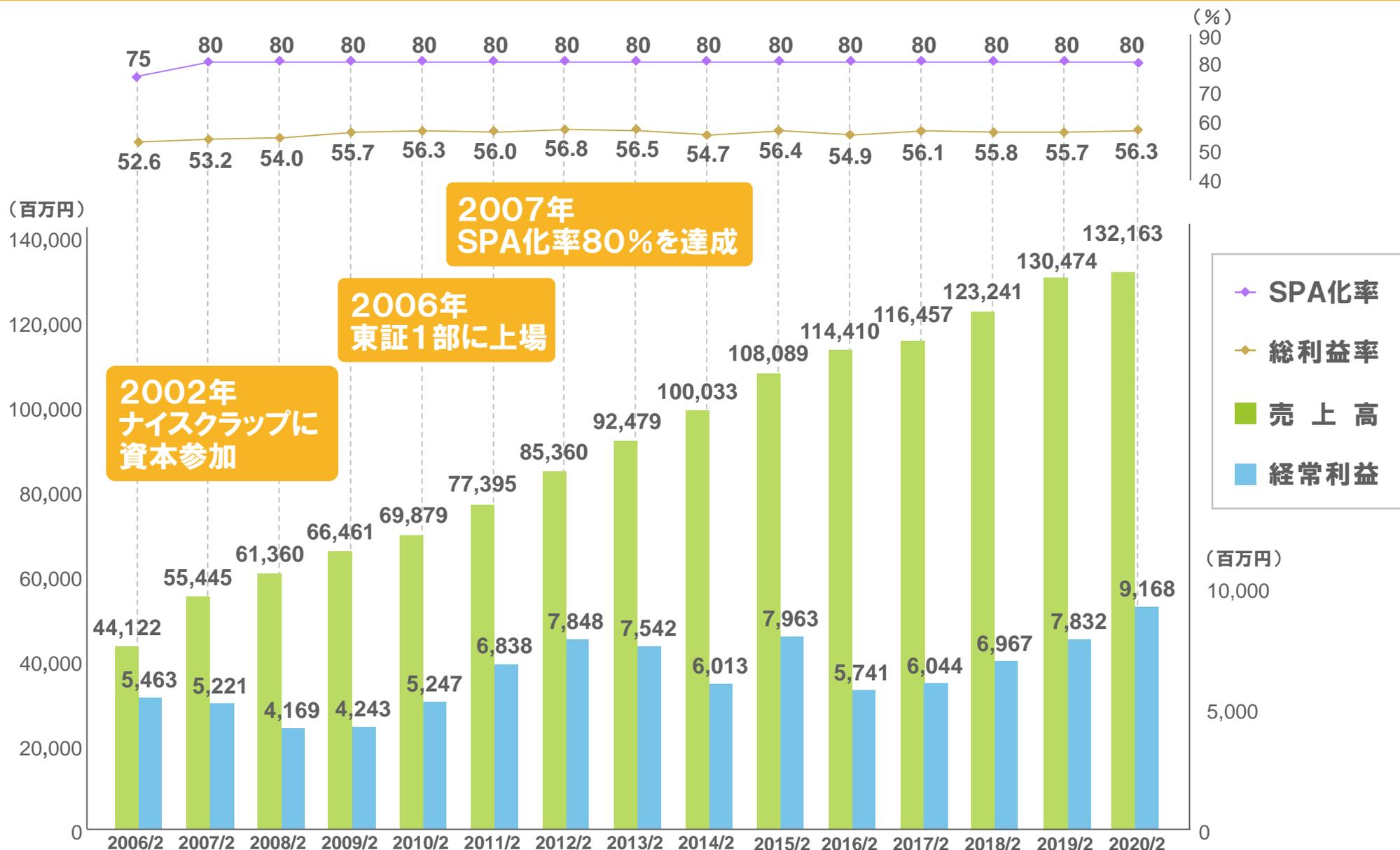
SMILE
IS
POWER.

経営ビジョン

業績推移
中長期ビジョン

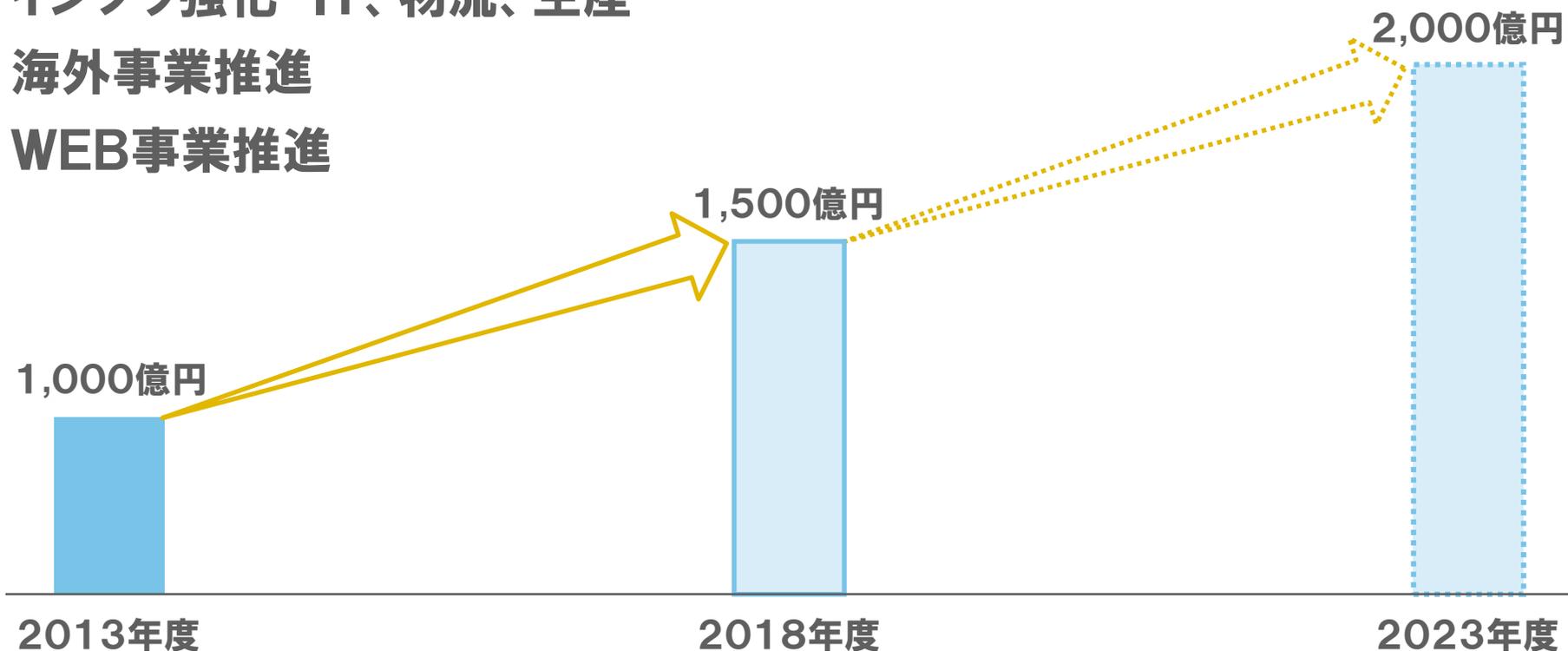


業績推移



事業戦略

- 『パル流』経営のグループ会社への一層の浸透・持株会社体制へ移行
- 新規ブランドの創設（社内提案、社外コラボ、M&Aなど）
- インフラ強化 IT、物流、生産
- 海外事業推進
- WEB事業推進



SMILE
IS
POWER.

トピックス

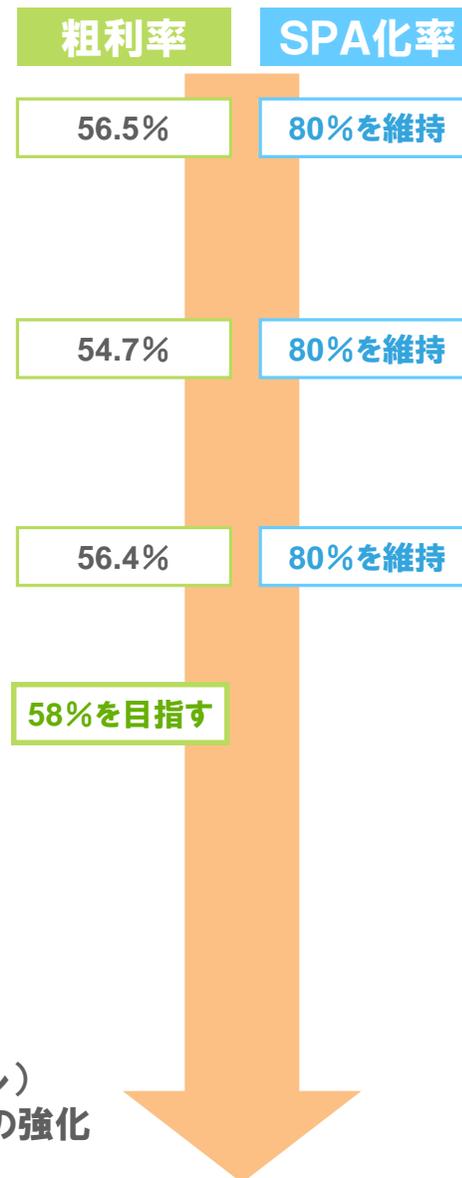
1. MD改革の進捗状況
2. EC販売強化
 - 2-①. PAL流オムニチャネル
3. サステナビリティへの取り組み



1. MD改革の進捗状況

具体的な施策

年次	進捗段階	具体的な施策
2013年	第1段階	<p>売れ筋商品のMDサイクル(8週間)での完成段階 MD改革の断行を宣言</p>
2013年 11月		<p>環境の変化への大きな舵取りを断行へ 温暖化の影響による春・秋のシーズンの希薄化、バーゲンセール の分散化・不人気化、ファストファッションの浸透・・・等々から</p>
2014年	第2段階	<p>売れ筋商品のMDサイクルを、一気に4週間の短サイクルへ</p> <p>円安を主要因とする非常に厳しいアパレル小売の環境下 短サイクル化による、店頭鮮度の向上がプロパー消化率を押し上げ 適正型数、在庫管理の徹底により、セール期での粗利低下を防止 過去最高益を達成</p>
2015年	第3段階	<p>4週間の短サイクルMDの完成 期初から、全ブランドの4W発注を達成</p>
2016年		<p>生産プラットフォームの強化 春夏ものから生産集約を開始、グループの規模を生かした形で、 秋冬ものから本格稼働し、質の向上とコスト削減へ</p> <p>トレンドベーシックな価格戦略商品の取込み 従来の中間層が崩壊した市場に合わせた商品の投入</p>
2017年		<p>5つの施策の明確化</p> <p>①4週MDのさらなる徹底と推進 ②プロモーションのネット化(オムニチャネル) ③ECの強化 ④生産プラットフォームの活用・強化 ⑤プラスワンカテゴリーの強化 ⑥シフトの効率化</p>



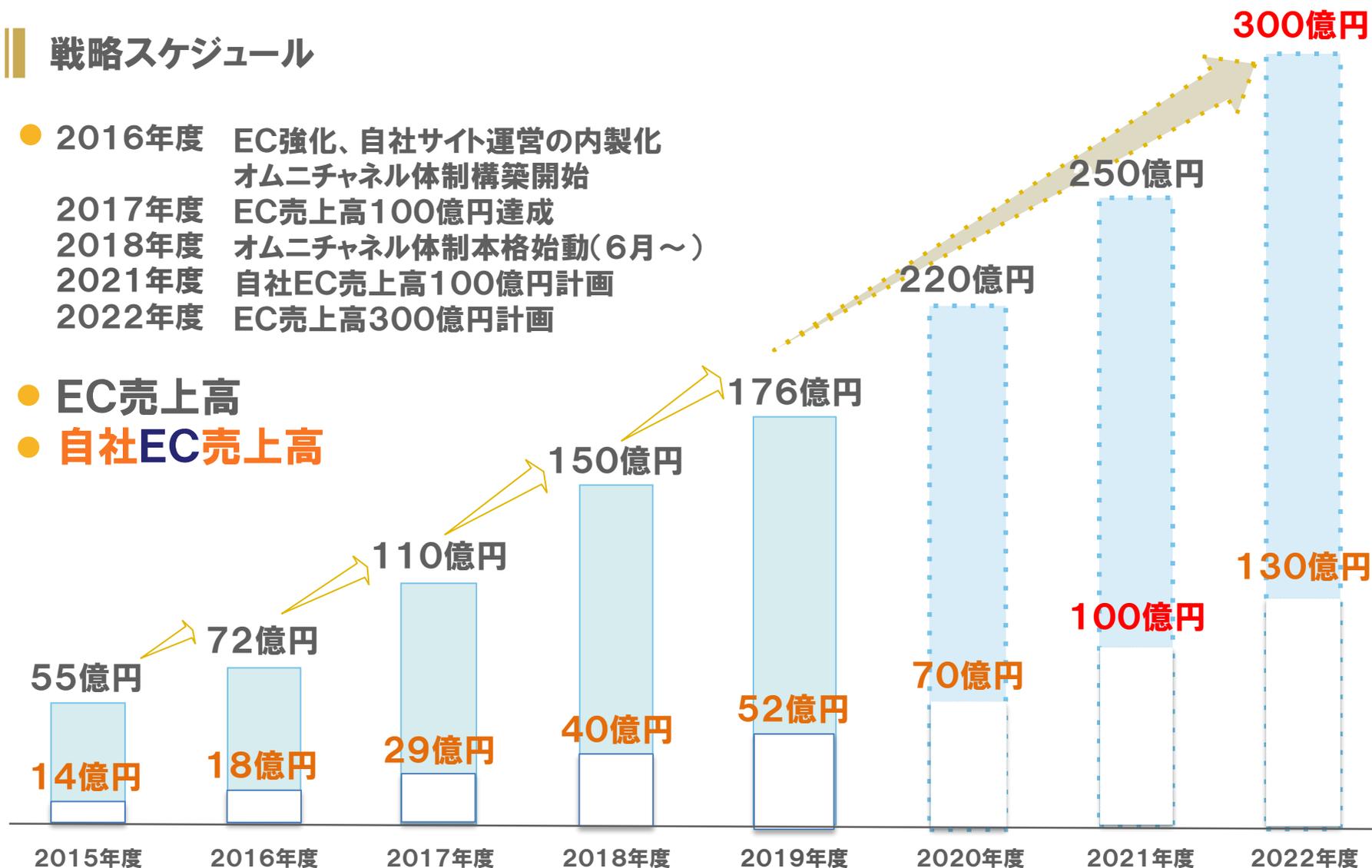
2. EC販売強化

戦略スケジュール

- 2016年度 EC強化、自社サイト運営の内製化
オムニチャンネル体制構築開始
- 2017年度 EC売上高100億円達成
- 2018年度 オムニチャンネル体制本格始動(6月～)
- 2021年度 自社EC売上高100億円計画
- 2022年度 EC売上高300億円計画

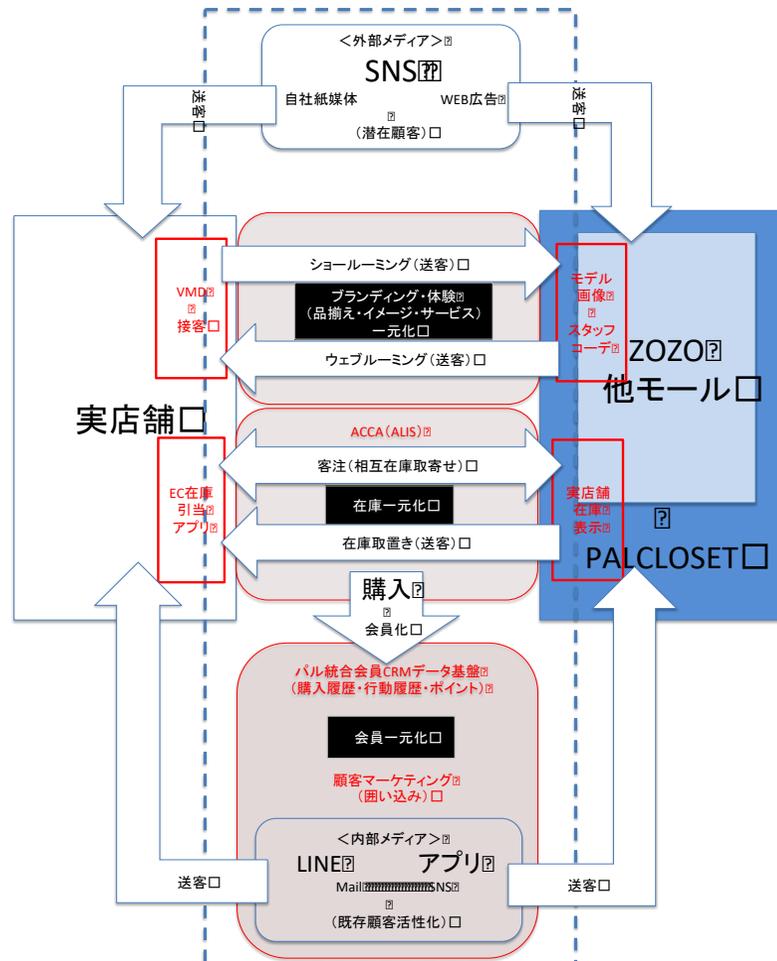
● EC売上高

● 自社EC売上高



2-①. PAL流オムニチャネル

Technology



システム・データの一元化
デジタルの活用

Human

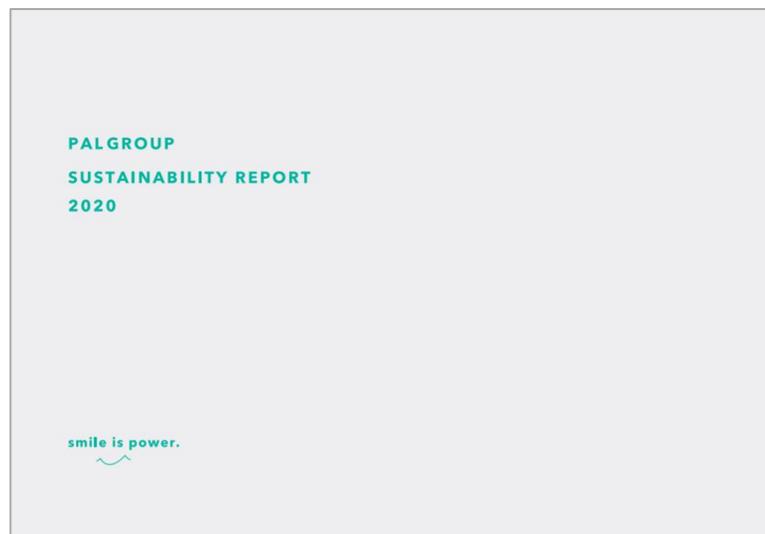


×

実店舗・ECの境を超えた
スタッフの活躍

3-①. サステナビリティへの取り組み

- 創業時から、環境や社会に対する変わらない堅実な姿勢を経営理念として受け継いできたパルグループホールディングスですが、その姿勢を明確に社内外に届ける為、この度サステナビリティ・レポートを発表しました。
- このレポートには、当グループにおけるサステナビリティの基本的な理念に加え、グループ内における現在の取り組み事例の詳細と、今後の活動方針なども記載しており、お客様やお取引先各社のみならず、株主様、投資家様など、広く皆様にお手に取って頂きたいと考えております。



こちらからダウンロードできます

▶ <http://www.palgroup.holdings/>

3-②. サステナビリティへの取り組み

- サステナビリティ活動をスピード感をもってさらに発展させ、グループ全体の共通の経営課題として取り組むために、パルグループホールディングス内にサステナブル委員会を立ち上げました。
- 私たちのサステナビリティの行動指針と合致するのが、国連の提唱しているSDGsです。SDGsの掲げる17のサステナブル・ゴールのうち、下記の7つをメイン・テーマとして抜き出し、それを下記の3つのエリアに分類してサステナビリティ・アクションを実行してまいります。

3つのサステナビリティ・アクションエリア



SMILE
IS
POWER.

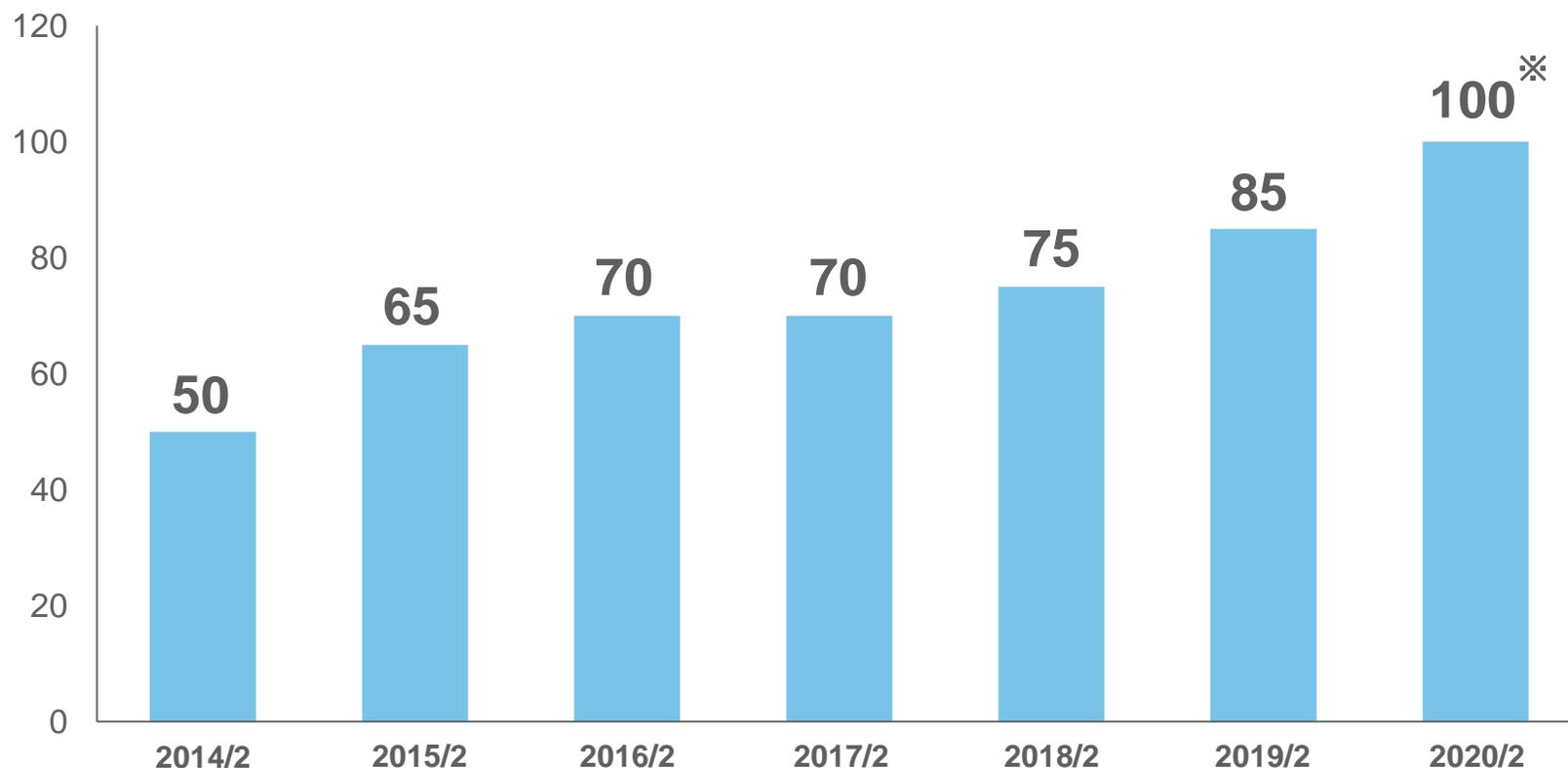
株主様への対応

1. 株主還策について
2. 株主優待制度について
3. 自己株式の取得について



1. 株主還元策について

- 安定配当を継続することを利益還元の基本方針とする
- 当期末の1株当たりの配当は、100円とする(前期比15円増配)



※2020年3月1日を効力発生日として、1株を2株にする分割を実施済で、結果として、1株あたりの配当は、50円へ自動的に変更されます。

2. 株主優待制度について

『株式の投資魅力を高める目的で、株主優待制度の拡充を決定』

当社株式の投資魅力を高めることで、新規の個人投資家様の拡大へ繋げると共に、中長期の保有を促進することを目的といたしまして、株主優待制度を下記の通り拡充致しました。

優待制度の内容

● 対象となる株主様

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている100株（1単元）以上を保有されている株主様を対象といたします。

● 株主優待の内容

保有株式数に応じて、以下の4つの割引優待を選択出来る共通割引優待券を付与することとし、その利用期間は、毎年6月1日から翌年5月31日までとします。

- ① 全国の当社グループ店舗でのご購入代金の15%を割引
- ② 当社ECサイト「PAL CLOSET ONLINE STORE」でのご購入代金の15%を割引
- ③ 当社の関係子会社である株式会社フリーゲート白浜が和歌山県西牟婁郡白浜町にて運営する宿泊施設「浜木綿くろしお山荘」及び「フリーゲート白浜」での宿泊コース料金の50%を割引
- ④ 金谷ホテル観光株式会社との提携により、同社が日光・鬼怒川エリアで保有する「鬼怒川温泉ホテル」での宿泊コース料金の50%を割引(2020年6月1日より)

● 優待券の付与枚数・・・株式分割後も変更せず、実質倍増

所有株式数	100株以上	200株以上	500株以上	1,000株以上
付与枚数	2枚	4枚	6枚	10枚



3. 自社株式の取得について

『株主還元の強化、及び資本効率の向上を図る』目的での自己株式の取得を決定

取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類	: 普通株式
(2) 取得する株式の総数	: 900,000株 (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合1.9%)
(3) 株式の取得価額の総額	: 約10億円
(4) 取得期間	: 2020年3月18日～2020年4月30日
(5) 取得方法	: 東京証券取引所における市場買付

※(ご参考)

2020年3月1日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数	46,272,000株
自己株式	2,274,644株

SMILE
IS
POWER.

ESGへの取組み

1. 当社のESGの取組み
2. PALフォレスト事業(Environment)
- 3-①. 障がい者雇用(Social)
- 3-②. 関西学院大学での寄附講座(Social)
- 3-③. パル井上財団での取組み(Social)
4. ジェンダー平等と働き方改革(Governance)



1. 当社のESGの取組み

当社のESGの取組み(Environment Social Governance)は、継続的に利益を上げ、税金を払い、雇用を継続するという企業の日常の活動を通して、『社員と株主みんなの幸せのための経営』という経営理念と、『未来につなげる社会と地球のための経営』の実現に向け、邁進することと考えています。



2. PALフォレスト事業(Environment)

「PALフォレスト事業」の取組み (Environment)

2012年より、世界遺産の奈良吉野の森で、植林活動に取り組んで来ました。日頃使用する包装材の生い立ちに思いを馳せて、毎年多くの社員、家族が参加することで、地球環境の維持の大切さを認識する、貴重な体験を共有しています。



3-①.障がい者雇用(Social)

『障がい者の運営する』全国初のホテル、旅館を全面支援 (Social)

当社は、2011年6月より、障がい者雇用を目的としたホテル『フリーゲート白浜』を運営してきましたが、近隣の宿泊施設を買収し、料理旅館『浜木綿くろしお山荘』として、事業を拡大し、営業を開始しました。

両施設とも、従業員の大半が障がいを抱えており、ホテルや旅館業のようなサービス業での雇用は、全国でも珍しいケースとなっていますが、当社での接客ノウハウを伝えながら、障がいのある人が自分たちで考えて、仕事を完結できるようにしています。



浜木綿くろしお山荘

▶ www.hamayu-kuroshio.com

関西学院大学、国際学部での寄附講座の取組み (Social)

当社は、2013年から5年間の大阪大学での寄附講座に続き、2019年から、関西学院大学、国際学部での寄附講座を開始いたしました。机上での理論に加え、経営、流通の現場からの講義を通して、将来の人材育成に寄与し続けたいと考えています。



美しい時計台のある関西学院キャンパス



『公益財団法人パル井上財団』での人材育成① (Social)

当社は、2013年より、創業一族である井上ファミリーとともに『一般財団法人パル井上財団』を設立した後、現在は公益財団としての認定を内閣府より受けて公益事業を行なっております。

具体的には、将来、ファッション業界や関連する分野に貢献しうる有用な人材を育成したいという趣旨から、学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を給付することを目的としています。

現在、約50名の全国の総合大学及び服飾系の大学・専門学校の学生(留学生を含む)に奨学金を給付しています。

『公益財団法人パル井上財団』
Webサイト
トップページ



パル井上財団

『公益財団法人パル井上財団』での人材育成②（Social）

パル井上財団では、奨学金の給付事業に加え、2018年より、服飾専門学校
の流通学科を専攻する学生によるロールプレイ大会を開催する運びとなりました。

『PAL FOUNDATION CUP』と名付けられた大会には、北海道から九州までの
多数の服飾専門学校から選抜された学生により、優劣の付け難い内容でのロールプ
レイングを披露して頂き、今後、ファッションビジネスを目指す学生の目標となる大会
にしていきたいと思います。



徹底した『ジェンダー平等』と『働き方改革』 (Governance)

『①ジェンダー平等』

当社には、「働きに応じて平等」という、クリアな人事制度評価上での指針が徹底されており、一人ひとりが、モチベーションの向上と共に、安心して働ける環境が整備されています。

	売上	粗利	人件費	在庫	資金	棚卸	合計	100点換算
第一事業部	396	116	84	71	98
第二事業部	353	78	77	86
第三事業部	310	93
第四事業部	378
第五事業部
第六事業部
第七事業部
開発事業部
全社合計	382	82	66	61	85

『②働き方改革』

当社は、1日8時間に捉われないフレキシブルな労働時間の設定を可能にする運用を始め、有給休暇や長期休暇の取得も容易になるなど、メリハリのある職場環境の醸成に努めています。

社 是

「常に新しいファッションライフの
提案を通して社会に貢献」

グループ 経営理念

「社員と株主みんなの
幸せのための経営」

社 名	株式会社 パルグループホールディングス
所 在 地	【本社所在地】 大阪府大阪市中央区道修町3-6-1 京阪神御堂筋ビル10F 【東京本社】 東京都渋谷区神宮前6丁目12-22 秋田ビル4F
代 表 者	井上 隆太
資 本 金	31億8,120万円
設 立	1973年10月
事業内容	婦人服・紳士服・雑貨等の企画・製造及び卸・小売
店 舗 数	926店舗

経営企画室

TEL 06-6227-0308
FAX 06-6231-1056

本資料に記載されている、計画、戦略、予想などのうち、歴史的事実でない情報は将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。